

- 1 文章の組み立てをくふうし、中心のはっきりした文章を書きましょう。  
2 段落の初めは、必ず一字下げて書き始め、段落ごとに行を変えましょう。

（ ） 月 日 曜日

白谷雲水峡とたいこ岩

神山小学校 五年 岩川 優衣

宿泊学習二日目。バスに乗って白谷雲水峡を  
通っていきます。前も右も左も後ろも、見  
わたす限り全部緑。まるで、緑色の世界に來  
たようでした。と中の道では、さるが三ひき  
もつくろいをしていました。バスの中では、  
みんな楽しみで笑い声かたくさんでした。  
しりとりなど、ゲームをしていると車がた

くさん止まっていた。もう、たいこ岩に  
そろそろ登るようでした。リュックをがらっ  
てはんごに登っていきました。私たちの  
んは、研修センターのまるちやんといっしょ  
に登っていきました。

まるちやんと先生たちといっしょに、ひた  
すら、話し、歩き続けました。すると、目の  
前に見えたのは、とてもすきとおっている、  
とうめいな水でした。みんな、のどかわい  
ていたの、その、とうめいな水をぐくりと

- 3 詩はどの行も三ばんめのマスから書き頭をそろえましょう。  
4 書き終ったら、何回も読み直して、まちがいを直したり、書き足りないところを書き足し、むだなところはけずりましょう。

(不許複製)



- 1 文章の組み立てをくふうし、中心のはっきりした文章を書きましょう。  
2 段落の初めは、必ず一字下げて書き始め、段落ごとに行を変えましょう。

（ ）月 日 曜日

のみました。その水はいままで一度ものんだことのない、とてもおいしい氷でした。また、ひたすら歩き続けると空気が変わりました。ひんやりとし、前は白いもやがかかっていた。まるで、まるちゃんは、「雲の中を今、歩いているんだよ」といっていました。でも、私は信じられませんでした。初めて、雲の中を通ってみて、楽しかっただです。お昼ごはんを食べて、回復したら、また登り続けました。光が当たって、急にまぶしくなりました。光にむかって進んで行くとたいこ岩の上に立ちました。頂上に立って、「やっほー」とさけぶと「やっほー」とかえってきました。さいごに、岩をたたくと、「ドンドン」となりました。それはたしかに、たいこのようでした。

(不許複製)

- 3 詩はどの行も三ばんめのマスから書き頭をそろえましょう。  
4 書き終ったら、何回も読み直して、まちがいを直したり、書き足りないところを書き足し、むだなところはけずりましょう。

